

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学病院および昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道胃静脈瘤治療に対する内視鏡的治療後の生存に寄与する因子

### 1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院および昭和大学横浜市北部病院において2013年1月から2018年9月までに食道静脈瘤に対する内視鏡的治療を行った慢性肝疾患162例のうち、進行肝細胞癌非合併慢性肝疾患151例の方。

### 2. 研究目的・方法

食道静脈瘤に対する内視鏡的治療後の生存に寄与する因子を明らかにする目的で検討を行いました。食道静脈瘤に対する内視鏡治療の適応は、緊急・待期例では内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）を行い、予防例を含めF2またはRC2以上としました。治療方法は内視鏡的硬化療法（EIS）を基本とし、5%エタノラミンオレート・イオパミドール混合液（EOI）の血管内注入法と1%エトキシスクレロール（AS）による血管外注入法の併用法（E0・AS併用法）を行い、アルゴンプラズマ凝固（APC）法による地固め法を追加しました。一方、超音波内視鏡による傍食道静脈（Para-V）高度発達例、血管内注入困難例、PS低下例等はEVLを行い、適宜ASによる血管外注入法、APCによる地固め法を追加しました。治療1～2か月後および1年毎に上部消化管内視鏡を行い、再発または遺残は適宜治療を追加しました。予後に寄与する因子として、年齢、病因、肝細胞癌（観察開始時、観察終了時）、血小板数、Child-Pugh分類、APRI、Fib-4 index、ALBI gradeについて検討を行いました。

#### 研究期間

医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2019年12月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、性別、病因、肝細胞癌合併の有無、血液検査

## 4. 外部への試料・情報の提供

なし

## 5. 研究組織

昭和大学病院 魚住祥二郎

昭和大学横浜市北部病院 馬場俊之

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院(医学部内科学講座消化器内科学部門)

氏名：魚住 祥二郎

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8535

研究責任者：

所属：昭和大学病院(医学部内科学講座消化器内科学部門)

氏名：魚住 祥二郎

研究代表者：

所属：昭和大学病院(医学部内科学講座消化器内科学部門)

氏名：魚住 祥二郎